

## 市内でのクビアカツヤカミキリの確認について

特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリが市内で初めて確認されましたのでお知らせします。クビアカツヤカミキリは人体に直接の害はありませんが、サクラ、モモ、ウメなどのバラ科の樹木に産卵し、幼虫が樹木の内部を食害します。食害された樹木は衰弱し、被害が大きい場合には枯れてしまいます。クビアカツヤカミキリを見つけた場合には、その場で踏みつぶすか、市販されている殺虫剤等で駆除をしてください。

1 発見日 令和6年7月2日(火)

2 発見場所 南区文京

### 3 事案の経過等

- ・ 7月2日、市民からクビアカツヤカミキリの成虫1頭を発見したと神奈川県自然環境保全課に連絡があり、写真を確認したところクビアカツヤカミキリであることが確認されました。
- ・ 7月3日、本市職員が現場付近の調査を実施しましたが、新たな成虫やフラスは確認されませんでした。

#### 〈参考〉

- ・ クビアカツヤカミキリは特徴として、体長は2～4cmで全体は青みを帯びた黒色で、つやつやとした光沢があり、前胸部の背中側が赤い。
- ・ 幼虫が生息する樹木の幹や根本には「フラス」という糞と木くずの茶色の混合物がみられます。
- ・ 被害地域や状況を把握する必要がありますので、クビアカツヤカミキリを発見した場合には、水みどり環境課へご連絡いただきますようお願いいたします。



クビアカツヤカミキリ【提供：埼玉県環境科学国際センター】

排出されるフラス【提供：埼玉県環境科学国際センター】

問い合わせ先 水みどり環境課  
(直通) 042-769-8242  
対応責任者：角田